

平成27年版

消防年報

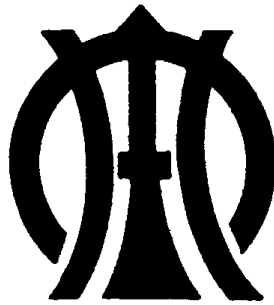
リバーサイド START マラソン



《平成 27 年さかえリバーサイドマラソン》

栄町消防本部

栄町民憲章



水と緑にめぐまれた栄町は、先人たちの残した歴史にかこまれている私たちのふるさとです。

私たちは、このすばらしい自然と伝統を守りながら、豊かで明るい田園観光都市をつくりあげるため、この憲章を定めます。

1. 歴史と自然を守り
美しいまちをつくりましょう。
1. 他人をおもいやり
住みよいまちをつくりましょう。
1. 若い力をそだて明るい
未来のまちをつくりましょう。
1. 働くことによるこびを感じ
豊かなまちをつくりましょう。
1. スポーツに親しみ健康で
すこやかなまちをつくりましょう。

昭和61年10月1日制定

は し が き

この年報は平成 27 年 4 月 1 日現在、栄町における消防現況及び平成 26 年度中の消防業務に関する事項について収録し、今後の行政における合理的運営と消防力の充実育成に資するために編集したものです。

なお、統計年については、平成 27 年 4 月 1 日の数値を記載し火災及び救急は暦年としました。

平成 27 年 6 月

栄町消防本部

目 次

総務編

栄町の位置・地勢	1
栄町消防の歩み	2
消防組織図	5
消防財政	6
事務分掌	7
消防職員配置状況	9

予防編

火災発生状況の推移	10
防火対象物の現況及び査察状況	11
危険物施設数量別設置状況	12

警防編

救急活動状況の推移	13
月別出場件数及び搬送人員	14
月別救急支援出動及びドクターヘリ要請件数	15
救助出場状況	16
救助資機材保有状況	17
消防本部（署）車両配置状況・消防無線施設	18
消防水利状況	19
応援協定等の状況	20

防災編

栄町防災行政無線通信施設状況	22
自主防災組織防災備品状況（町整備）・自主防災組織防災備品状況（各自主防災組織整備）	23
町防災備品状況	24
広域避難場所図・避難場所一覧表	25

消防団編

消防団員報酬（年額）・消防団員各種手当・消防団出場状況	26
階級別定員数及び実員数・分団別人員配置状況	27
消防団車両保有状況	28
消防団施設概要	29

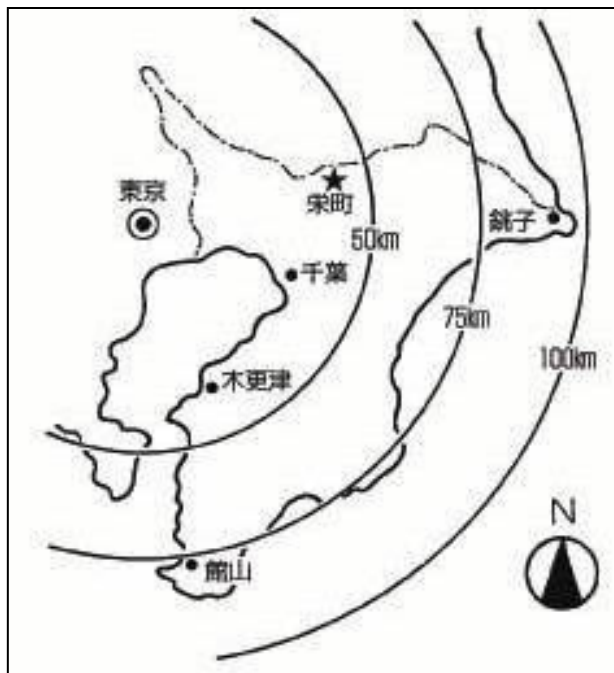
総務編



栄町の位置・地勢

栄町は、千葉県の北部に位置し、水と緑に囲まれた自然の恵みがたっぷりの田園都市であるとともに、太古の遺跡や伝統が息づく歴史の都市でもあります。北は利根川、南は印旛沼に囲まれ、東は成田市と隣接し、龍角寺があり古墳群が点在している北総台地が連なり、さらに「房総のむら」「房総風土記の丘」が整備され、豊かな自然と歴史に恵まれた田園観光都市として発展しています。

交通は、都心から 50km 圏、千葉から 35km 圏にあり、成田線で上野から最寄りの安食駅まで 66 分、自動車でも東関東自動車道成田 I.C から 20 分という恵まれた立地です。



面積： 32.51 km²

位置： 東経 140° 14' 50"
北緯 35° 50' 15"

広ぼう： 東西約 12km
南北約 5km

周囲： 約 37.5km

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

年別 区分		平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
世帯数		8,595	8,630	8,693	8,710	8,779
人口	男性	11,193	10,986	10,875	10,682	10,568
	女性	11,627	11,497	11,403	11,217	11,088
	合計	22,820	22,483	22,278	21,899	21,656
人口密度(人/km ²)		703.0	692.6	686.3	674.6	666.1

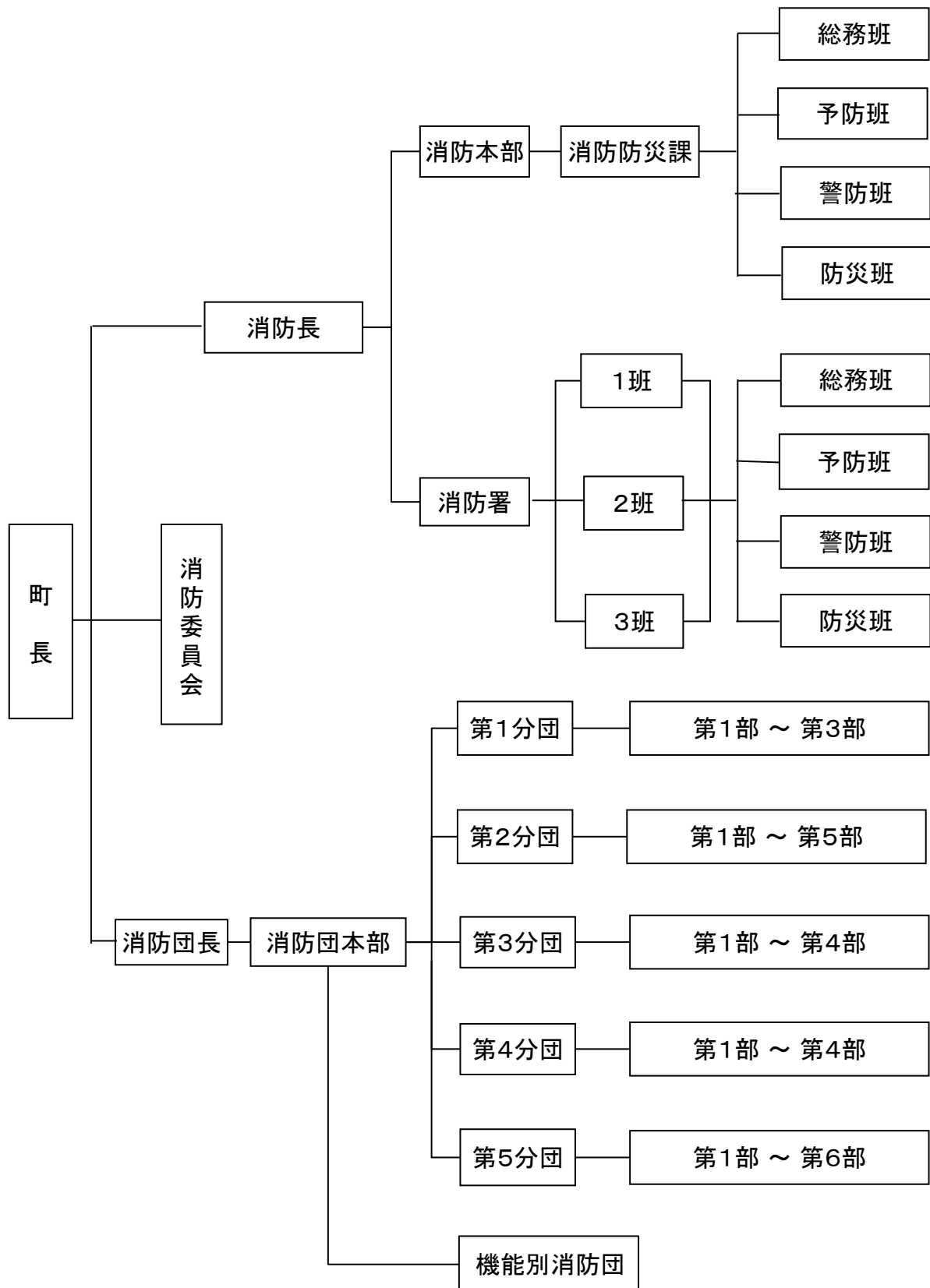
年	月	概	要
昭和30	12	安食町と布鎌村の合併に伴い消防団も同時に合併する 初代消防団長に麻生新平氏就任 消防団員条例定員数740名とする	
昭和35	4	第2代消防団長に高橋竹重氏就任	
昭和38	2	第3代消防団長に大木勝三氏就任	
昭和39	3	第4代消防団長に大野勘助氏就任	
昭和40	7	千葉県広域消防応援協定を締結する	
昭和42	4	第5代消防団長に河内稲吉氏就任 消防団員条例定員数688名とする	
昭和44	4	成田市と救急業務応援協定を締結する 消防団員条例定員数587名とする	
昭和45	6	第6代消防団長に野平幸男氏就任	
	12	役場分団を結成する	
昭和48	12	印西地区消防組合と救急業務応援協定を締結する	
	4	消防団員条例定員数444名とする	
	7	利根川水系連合(1都6県)水防演習を布太地先で挙げる	
昭和50	4	第7代消防団長に杉田甚衛氏就任	
昭和53	3	新東京国際空港消防相互応援協定を締結する	
昭和54	4	第8代消防団長に近藤博氏就任	
昭和59	4	消防団員条例定員数400名とする 組織改革により分団制から部制を導入(6分団24部) 救急隊発足の為、職員の研修を開始する	
昭和60	4	役場総務課に救急準備室発足	
	8	日本船舶振興会より救急車(2B型)1台寄贈される	
昭和61	4	救急隊発足に伴い職員1名採用	
	5	消防救急指令装置を設置する	
		無線電話装置(基地局[消防さかえ]・移動局[救急さかえ1])を設置	
	6	役場新庁舎完成	
		成田市・印西地区消防組合と消防業務応援協定を締結する	
	7	役場総務課に救急業務係を設置 救急業務を13名で開始する。救急車1台及び指揮車1台を配置	
	12	携帯無線機(さかえ101・102)を購入 救急自動車(2B型)1台を増車し配置する 無線電話装置移動局(救急さかえ2・さかえ指揮1)を設置	
昭和62	4	消防防災課発足 職員18名となる	
	11	無線電話装置移動局(さかえ1)を設置(役場分団可搬式ポンプ積載車に設置)	
昭和63	4	職員21名となる 消火活動を開始する(救急業務兼務)	
	5	利根川水系連合(1都6県)水防演習を出津地先で挙げる	
	8	消防団各消防車両に受令機を設置	

年	月	概	要
昭和63	12	無線電話装置移動局(さかえ2)を設置 (役場分団タンク車に設置)	
平成元	4	職員23名となる	
	10	栄町防災行政無線 平成元年度分(固定系)施設整備工事に着手(親局1局、屋外拡声子局14局、戸別受信機35台)	
平成2	4	職員25名となる	
	8	栄町防災行政無線 平成2年度分(固定系)施設整備工事に着手(屋外拡声子局25局、戸別受信機35台)	
平成3	4	職員28名となる	
	8	栄町防災行政無線 平成3年度分(固定系)施設整備工事に着手(屋外拡声子局15局、戸別受信機35台)	
	12	栄町防災行政無線局 全局運用開始(屋外拡声子局54局、戸別受信機105台) 消防ポンプ自動車CD-1型を購入(さかえ1)	
平成4	4	職員31名となる	
	5	指揮車更新(さかえ指揮1) 栄町防災行政無線 平成4年度分(固定系)施設整備工事に着手(戸別受信機50台)	
平成5	1	職員33名となる	
	4	職員38名となる	
	11	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型購入 無線電話装置移動局(さかえ3)を水槽付消防ポンプ自動車に設置 携帯無線機(さかえ106)を購入	
平成6	4	自治大臣より消防本部及び消防署を置かなければならない町村として指定を受ける 町独自水出し操法を開始	
	10	栄町消防本部・栄町消防署を安食台1丁目2番に設ける 初代消防長に白石明氏(消防署長事務取扱)就任 職員41名となる	
	12	千葉県消防設備保守協会より広報車(カローラバン)1台寄贈される	
平成7	2	消防庁舎用地取得	
	4	職員42名となる	
	5	栄町危険物安全協会設立	
平成8	2	救急車2B型を準高規格に更新(救急さかえ1)	
	4	職員43名となる 第9代消防団長に石井清輝氏就任	
	6	第21回消防救助技術千葉県大会に初出場	
平成9	2	第38回千葉県消防職員意見発表会に初出場	
	4	職員45名となる	
平成10	4	職員47名となる	
	10	消防庁舎起工式	
平成11	4	職員49名となる	
	11	消防庁舎建築及び設備工事完了	
	12	消防庁舎にて業務開始	

年	月	概	要
平成11	12	資機材搬送車を配置する(さかえ5)	
平成12	1	救急車(2B)を高規格救急車に更新配備(救急さかえ2)	
		医療法人社団育成會 北総栄病院に心電図受信装置設置	
		救急救命士による救急活動を開始する	
	2	栄町消防庁舎・出津高規格堤防竣工式	
		消防団員条例定数352名とする	
	3	成田市消防本部が成田赤十字病院に設置した心電図受信装置の使用について協定を締結	
		佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部が日本医科大学附属千葉北総病院に設置した心電図受信装置の使用について協定を締結	
		役場分団を解散する	
	4	PA連携活動を開始	
	7	第2代消防長に鈴木薫氏就任	
平成13	2	小型動力ポンプ付水槽車を購入(さかえ6)	
平成14	2	救助工作車Ⅱ型(さかえ7)及び救助用ボートを購入	
	4	職員47名となる	
	7	第3代消防長に鈴木萬滋氏就任	
平成15	3	消防ポンプ自動車を更新配備(さかえ1)	
平成16	2	救急車(2B)を高規格救急車に更新配備(救急さかえ1)	
	4	三部制を施行する	
		職員47名となる	
	7	第4代消防長に白石明氏就任	
平成17	4	緊急消防援助隊に登録	
		職員47名となる	
平成18	4	第10代消防団長に大久保靖夫氏就任	
		職員49名となる	
平成20	4	第11代消防団長に小川義人氏就任	
		職員48名となる	
	5	利根川水系連合(1都6県)水防演習を出津地先で挙行する	
	7	第5代消防長に鳥羽功雄氏就任	
		職員46名となる	
平成21	4	第6代消防長に大澤幸男氏就任	
平成22	4	職員45名となる	
平成23	4	第7代消防長に浅野正治氏就任	
		職員47名となる	
平成24	4	第8代消防長に鈴木薫氏就任	
		職員46名となる	
	11	第12代消防団長に芝野照敏氏就任	
平成25	4	第9代消防長に奥野三男氏就任	
		職員46名となる	
平成26	2	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型更新(栄水槽1)	
	4	職員47名となる	
平成27	3	高規格救急自動車を更新(栄救急2)	
	4	職員45名となる	

消防組織図

(平成27年4月1日現在)



消防財政

〈過去3年間の状況〉

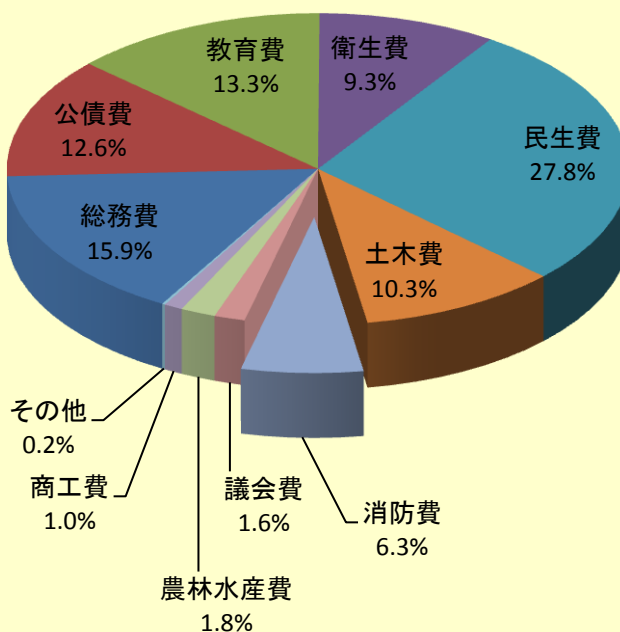
(単位:千円)

区分 年度	常 備	非常備	施 設	水 防	防災対策費	計
平成25年	440,417	21,983	0	2,644	8,744	473,788
平成26年	417,742	24,101	0	5,645	23,901	471,389
平成27年	372,624	24,871	0	26,45	25,202	425,342

〈平成27年度一般会計〉

(単位:千円)

区分	予算額
総務費	1,069,468
公債費	844,872
教育費	893,419
衛生費	624,200
民生費	1,866,826
土木費	695,719
消防費	425,342
議会費	107,739
農林水産費	122,718
商工費	65,333
その他	10,264
合 計	6,725,900



班 名	分掌事務
総務班	消防本部・署の人事に関する事。
	消防本部・署内の行政評価の管理に関する事。
	予算、決算及び会計経理に関する事。
	消防財産の維持管理に関する事。
	公印の管守に関する事。
	行政文書の收受、発送及び整理保存に関する事。
	消防委員会に関する事。
	消防広報に関する事。
	消防職員に対する被服等の貸与に関する事。
	消防職員の福利厚生に関する事。
	消防職員の労働安全管理及び公務災害補償に関する事。
	消防団の指導育成に関する事。
	消防職員委員会に関する事。
予防班	水火災の予防に関する事。
	防火思想の普及啓蒙に関する事。
	予防査察に関する事。
	防火管理及び消防計画に関する事。
	消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
	建築物の建築の同意に関する事。
	火災の原因及び火災による損害の調査に関する事。
	栄町火災予防条例に基づく届出の受理に関する事。
	液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく意見書の提出に関する事。
	危険物安全協会の指導育成に関する事。
	講習会及び試験等に関する事。
	危険物の製造所、貯蔵所及び取扱所に係る許認可、届出の受理及び指導に関する事。
警防班	火災の防御計画に関する事。
	水火災等の災害に関する事。
	消防水利に関する事。
	消防施設の整備に関する事。
	救急救助に関する事。
	警防計画に関する事。
	消防機器の管理に関する事。
	消防に係る統計に関する事。
	各種証明に関する事。
	消防通信の管理運用に関する事。
	消防訓練等に関する事。
防災班	防災会議に関する事。
	防災行政無線に関する事。
	災害対策本部に関する事。
	地域防災計画の策定に関する事。
	防災備品の維持及び管理に関する事。
	防災訓練に関する事。
	国民保護法制に関する事。

班 名	分掌事務
総務班	消防車両等消防施設の維持管理に関すること。
	消防職員の研修計画に関すること。
	消防職員の健康管理に関すること。
	消防団の訓練指導に関すること。
予防班	防災対象物の予防査察に関すること。
	火災の原因及び火災による損害の調査に関すること。
	火災予防に関すること。
	庶務に関すること。
警防班	水火災の警戒及び防御に関すること。
	救急業務に関すること。
	救助業務に関すること。
	通信業務に関すること。
	地水利調査に関すること。
	消防用資機材の運用及び管理に関すること。
	各種消防訓練に関すること。
防災班	防災備品の維持及び管理に関すること。
	各種団体の防災訓練に関すること。
	自主防災の運営に関すること。
	防災備品の維持及び管理に関すること。
	庶務に関すること。

消防職員配置状況

(平成27年4月1日現在)

階級 所属		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
消防本部	消防長	1								1
	消防防災課長		1							1
	総務班			1	2			1	1	5
	予防班			1						1
	警防班			※1						※1
	防災班						1		1	2
	小計	1	1	2	2		1	1	2	10
消防署	消防署長	※1								※1
	消防副署長			3						3
	総務班			1	5	1		2		9
	予防班			2	5		2			9
	警防班			1	6			1		8
	防災班			1	4		1			6
	小計			8	20	1	3	3		35
合計		1	1	10	22	1	4	4	2	45

※ 消防長兼務、予防班長兼務

予 防 編



平成26年中、当町における出火件数は11件、その内訳は建物火災が4件・車両火災が1件・林野火災が1件・その他火災が5件となっています。

全国的な火災実態の傾向では放火が多く、町民に放火に対する一層の防止策や今後進展する高齢化社会に向け火災予防対策として、住宅用火災警報器の設置を積極的に指導し、出火防止を図っていく必要があります。

火災発生状況の推移

(過去10年間)

区分		年別	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年
火災種別 (件数)	建物		3	3	4	3	3	9	1	2	1	4
	林野					1						1
	車両		1	1	1				1	1	1	1
	その他		2	2	3	3	1	4	7	2	6	5
	合計		6	6	8	7	4	13	9	5	8	11
焼損棟数 (棟)	全焼		2	3	2	2	12	9	1	4		1
	半焼						1					
	部分焼		1		3	3	1	2	1	1		3
	ぼや			2	3			1		1	1	
	合計		3	5	8	5	14	12	2	6	1	4
り災世帯 (世帯数)			3	3	9	5	4	10	1	5		3
り災人員 (人数)			7	6	28	13	14	23	3	11		5
死傷者等	死者 (人)					1				1		
	負傷者 (人)			1	5		1	1	1			
焼損面積	建物 (㎡)		252	285	112	331	627	953	294	190	2	48
	車両 (台)		1	1	1		1		1	1	1	1
	その他 (a)		2	4	8	3		8	5	17	13	3
損害額 (千円)	建物		8,128	59,081	483	25,400	19,401	67,555	8,085	36,686		2,524
	林野											
	車両		118	145	2,300		3,500		320	59	700	
	その他											
	合計		8,246	59,226	2,783	25,400	22,901	67,555	8,405	36,745	700	2,524

防火対象物の現況及び査察状況

(平成27年4月1日現在)

項別	区分	防火対象物の用途	防火対象物数	査察状況
1	イ	劇場・観覧場		
	ロ	公会堂・集会場	10	5
2	イ	キャバレー・カフェ等		
	ロ	遊技場・ダンスホール		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等		
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する店舗		
3	イ	待合・料理店	1	
	ロ	飲食店	5	4
4		百貨店又はマーケット	33	10
5	イ	旅館・ホテル	1	1
	ロ	寄宿舍・共同住宅	116	
6	イ	病院・診療所	5	
	ロ	各種福祉施設	4	
	ハ	老人デイサービスセンター・老人福祉センター・老人介護支援センター・保育所等	7	
	ニ	幼稚園・特別支援学校	2	
7		小・中・高・大学・各種学校	18	
8		図書館・博物館	49	
9	イ	熱気浴場・蒸気浴場		
	ロ	公衆浴場		
10		車両の停車場・船舶若しくは航空機の発着場		
11		神社・寺院・教会	3	2
12	イ	工場・作業場	36	12
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫・駐車場	8	
	ロ	飛行機等の格納庫		
14		倉庫	28	10
15		全各項に該当しない事業所	105	29
16	イ	複合用途防火対象物のうちその一部が1項～4項まで、5項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象の用途に供されているもの	19	10
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	8	4
17		重要文化財		
18		延長50m以上のアーケード		
19		市町村の指定する山林		
20		自治省で定める舟車		
合 計			458	87

危険物施設数量別設置状況

(平成27年4月1日現在)

区 分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所						合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 類 販 売 取 扱 所	第 二 類 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計
計			2	1	1	15		30		49	7				7	14	64
指 定 数 量 別	5倍以下		1	1	1	4		30		37					1	1	38
	5倍を超え 10倍以下		1			2				3					2	2	5
	10倍を超え 50倍以下					6				6					4	4	10
	50倍を超え 100倍以下					1				1	2					2	3
	100倍を超え 150倍以下					1				1							1
	150倍を超え 200倍以下					1				1							1
	200倍を超え 1000倍以下										5					5	5
	1000倍を超 えるもの																
類 別	第1類																
	第2類																
	第3類																
	第4類		2	1	1	15		30		49	7				7	14	64
	第5類																
	第6類																

警 防 編



《平成26年度に更新された高規格救急車》

平成26年中の救急業務実施状況は、出場件数 892 件・搬送人員 807 人となり、事故種別では急病が最も多く 540 人搬送しております。

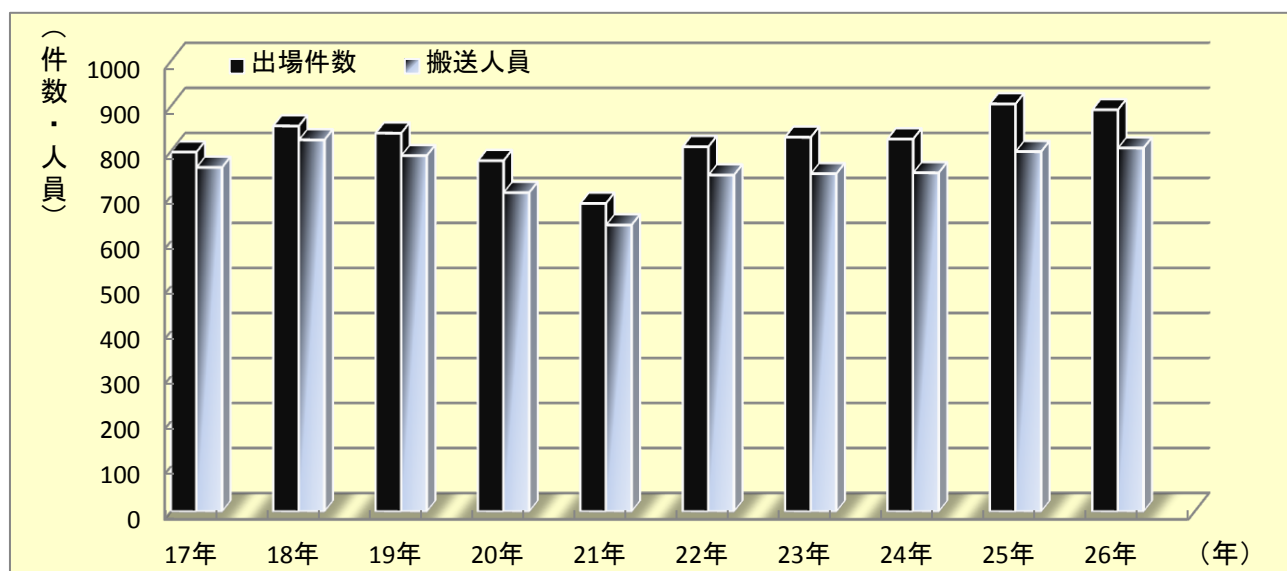
救急支援出動は 133 件で、ドクターヘリ要請は 11 件出動しています。

また地域住民に対する応急手当の普及啓発活動として、普通救命講習会を町内各地区・各事業所で開催しております。

救急活動状況の推移

(過去10年間)

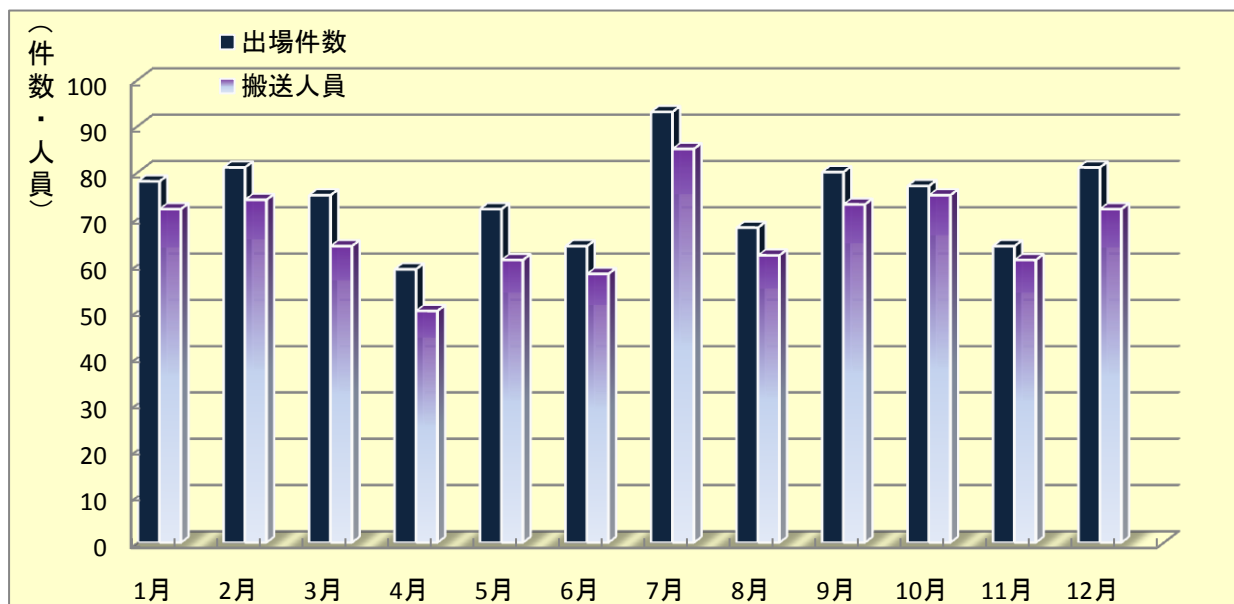
区 分		救 急 事 故 種 別												合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転 院 搬 送	そ の 他	
平成 17年	出場件数	2		1	88	1	2	122	6	10	496	69	1	798
	搬送人員	4		1	93	1	2	118	7	7	462	69		764
平成 18年	出場件数	1		2	80	9	3	108	3	8	576	66		856
	搬送人員	1			88	9	3	103	2	6	547	66		825
平成 19年	出場件数	3		1	77	3	2	127	1	17	556	52	1	840
	搬送人員	6			88	3	2	118		14	507	52		790
平成 20年	出場件数	4		5	111	7	4	90	5	9	486	55	3	779
	搬送人員			1	115	7	4	81	1	4	439	56		708
平成 21年	出場件数	4		2	65	4	3	94	4	12	451	43	2	684
	搬送人員				75	4	3	89	4	9	406	43	3	636
平成 22年	出場件数	6		2	74	2	2	106	3	12	569	34		810
	搬送人員	1			77	2	2	103	2	7	520	33		747
平成 23年	出場件数	2		2	51	6	2	116	2	14	595	41		831
	搬送人員	1		1	44	6	2	104	1	10	544	37		750
平成 24年	出場件数	2		3	64	6	2	119	3	12	575	41		827
	搬送人員				61	6	2	112	2	3	525	41		752
平成 25年	出場件数	14		4	76	10	6	116	4	13	617	42	3	905
	搬送人員				72	10	4	95	4	9	562	43		799
平成 26年	出場件数	15		4	72	5	5	113	6	19	602	50	1	892
	搬送人員				81	5	5	109	6	11	540	50		807



月別出場件数及び搬送人員

(平成26年1月1日～12月31日)

区 分		救 急 事 故 種 別												合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転 院 搬 送	そ の 他	
1月	出場件数			1	5			11	1	2	53	5		78
	搬送人員				7			11	1	1	47	5		72
2月	出場件数	2			4	1	1	11	1		56	5		81
	搬送人員				4	1	1	10	1		52	5		74
3月	出場件数	2			6			7			57	3		75
	搬送人員				6			7			48	3		64
4月	出場件数	1		2	5	1	1	10	1	3	33	2		59
	搬送人員				5	1	1	9	1	1	30	2		50
5月	出場件数	4			2		1	10		3	47	5		72
	搬送人員				2		1	10			43	5		61
6月	出場件数	1			7			7		1	43	4	1	64
	搬送人員				7			6		1	40	4		58
7月	出場件数	1			9	1	2	11	1	1	62	5		93
	搬送人員				8	1	2	11	1	1	56	5		85
8月	出場件数	1			3			10	2	2	46	4		68
	搬送人員				3			9	2	2	42	4		62
9月	出場件数				8			11		3	55	3		80
	搬送人員				9			11		2	48	3		73
10月	出場件数	1		1	5	2		8		1	55	4		77
	搬送人員				8	2		8		1	52	4		75
11月	出場件数				5			7		2	46	4		64
	搬送人員				7			7		1	42	4		61
12月	出場件数	2			13			10		1	49	6		81
	搬送人員				15			10		1	40	6		72
合 計	出場件数	15		4	72	5	5	113	6	19	602	50	1	892
	搬送人員				81	5	5	109	6	11	540	50		807



月別救急支援出動及びドクターヘリ要請件数

(平成26年1月1日～12月31日)

区 分		救 急 事 故 種 別											合 計	
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転 院 搬 送		そ の 他
1月	支援出動				3			1			8			12
	Drヘリ要請													
2月	支援出動				1	1		1			5			8
	Drヘリ要請							1						1
3月	支援出動				2						10			12
	Drヘリ要請													
4月	支援出動				2					2	5			9
	Drヘリ要請										1			1
5月	支援出動									2	4			6
	Drヘリ要請													
6月	支援出動				2						3			5
	Drヘリ要請													
7月	支援出動				5	1					11			17
	Drヘリ要請				1	1					2			4
8月	支援出動				3			1			5			9
	Drヘリ要請													
9月	支援出動				2			1		3	6			12
	Drヘリ要請							1						1
10月	支援出動				1						7			8
	Drヘリ要請										2			2
11月	支援出動				2			2		1	10			15
	Drヘリ要請							1						1
12月	支援出動				10						10			20
	Drヘリ要請				1									1
合計	支援出動				33	2		6		8	84			133
	Drヘリ要請				2	1		3			5			11

救助出場状況

(過去5年間)

区 分		事 故 種 別									
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
平成22年	出場件数		4	2							6
	活動件数		4	2							6
平成23年	出場件数		1							3	4
	活動件数		1							3	4
平成24年	出場件数		3	3							6
	活動件数		3	3							6
平成25年	出場件数		2	5		1				3	11
	活動件数		2	4		1				1	8
平成26年	出場件数		7	3						7	17
	活動件数		6	2						1	9

救助資機材保有状況

平成27年4月1日現在

品 名	数 量	品 名	数 量
一般救助用器具		測定用器具	
かぎ付きはしご	2	可燃性ガス測定器	2
二連はしご	1	有毒ガス測定器	1
三連はしご	4	放射線測定器	1
金属製折りたたみはしご	1	隊員保護用器具	
空気式救助マット	1	化学防護服	2
救命索発射銃	1	防塵メガネ	9
サバイバースリング・救助用縛帯	5	防毒マスク	5
平担架	2	耐電手袋	9
バスケット担架	1	耐電帽・耐電衣	4
重量物排除用器具		耐電ズボン	2
油圧ジャッキ	2	耐電長靴	2
大型油圧スプレッダー	2	呼吸保護用器具	
可搬式ウインチ	6	空気呼吸器	23
マット式空気ジャッキ	2	要救助者用マスク	2
マンホール救助器具	1	酸素呼吸器	2
切断用器具		簡易呼吸器	2
大型油圧切断機	2	送排風機	1
油圧切断機	1	水難救助用器具	
エンジンカッター	2	救助用ボート	1
ガス溶断器	1	船外機	2
チェーンソー	2	救命胴衣	11
鉄線カッター	3	救命浮環	2
エアソー	2	浮標	1
空気切断機	1	その他の救助用器具	
電動レシプロソー	1	小型赤外線(熱画像)カメラ	1
電動式油圧コンビツール	1	携帯無線機	8
破壊用器具		携帯警報器	5
万能斧	7	携帯拡声器	8
ハンマー	3	車両移動器具	2
掛矢	3	緩降機	1
削岩機	1	応急処置セット	1
ハンマドリル	1	ハイブリッド車対応絶縁工具	1
携帯用コンクリート破壊器具	1		

消防本部(署)車両配備状況

(平成27年4月1日現在)

区分 車両 名称	車 種	メーカー	購入年月日	級別	ポンプ・主要装置			経過 年数	配置 場所
					製作所	形 式	水 槽		
栄ポンプ1	消防ポンプ車 (CD-I 型)	日野	平成15年 3月	A-2	モリタ	ME-5	300L	12	消防署
栄水槽1	水槽付 消防ポンプ車(Ⅱ型)	日野	平成26年 3月	A-2	モリタ	MZI	2,000L	1	消防署
さかえ4	水防車	三菱	平成10年 1月	—	—	—	—	17	水防組合
栄資材1	資機材搬送車	三菱	平成12年12月	—	—	—	—	15	消防本部
栄給水1	小型動力ポンプ付 水槽車(Ⅰ型)	日野	平成13年 1月	B-2	GM市原	GM2H2	5,000L	14	消防署
栄救助1	救助工作車(Ⅱ型)	日野	平成14年 2月	—	モリタ	—	—	13	消防署
さかえ8	広報車	トヨタ	平成 7年 1月	—	—	—	—	20	消防本部
栄本部指揮1	指揮車	トヨタ	平成 4年 5月	—	—	—	—	23	消防本部
栄救急1	救急車	トヨタ	平成16年 2月	高規格	トヨタ クラフト	—	—	11	消防署
栄救急2	救急車	日産	平成27年 3月	高規格	オーテック ジャパン	—	—	0	消防署

消防無線施設

(平成27年4月1日現在)

		名 称	設置場所	型 式	出 力
陸上移動局	固定型	栄本部501	消防本部	CM-2010DF	5W
	可搬型	栄本部指揮1	指揮車	CM-2010SM	5W
	車載型	栄救急1	救 急 車	CM-2010D	5W
		栄救急2	救 急 車	CM-2010D	5W
		栄ポンプ1	消 防 車	CM-2010D	5W
		栄水槽1	消 防 車	CM-2010D	5W
		栄救助1	救助工作車	CM-2010D	5W
		栄資材1	資機材搬送車	CM-2010D	5W
		栄給水1	消 防 車	CM-2010D	5W
	携帯型	栄201		CP-2010P	5W
		栄202		CP-2010P	5W
		栄203		CP-2010P	5W
		栄204		CP-2010P	5W
		栄205		CP-2010P	5W
		栄206		CP-2010P	5W
署活系	携帯型	栄401		CP-4069-TH	1W
		栄402		CP-4069-TH	1W
		栄403		CP-4069-TH	1W
		栄404		CP-4069-TH	1W
		栄405		CP-4069-TH	1W
		栄406		CP-4069-TH	1W
		栄407		CP-4069-TH	1W
		栄408		CP-4069-TH	1W

消防水利状況

(平成27年4月1日現在)

区分 地区	消火栓	公設					私設	防火 水槽 合計	プ ー ル	河 川	そ の 他
	公設					小計	40m ³ 以上 60m ³ 未満				
		60m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	20m ³ 以上 40m ³ 未満	20m ³ 未満						
計	221	2	116	73	24	215	6	221	1	7	7
安食台	47		11								
田中	2		2								
松ヶ丘	6		1								
酒直台	15		6								
竜角寺台	24		8						1		
南ヶ丘	13		3								
安食1区	19		5	4	1		1				
安食2区	17	2	4	5	2						
安食3区	5		8	5	1						
安食1丁目～3丁目	16		4								
須賀	2		3	6							
須賀新田	3		1	4							
北辺田	2		4	1	4						
矢口	6		2	6	3						
矢口神明	13						3				
興津			4	5						7	7
麻生			5		3						
龍角寺	2		3	2	4						
酒直	6		8	2	6		1				
南部			2								
和田	7		2	6			1				
押付	2		1	4							
南・曽根	4		6	1							
布鎌酒直・出津	4		1	7							
西			3	2							
布太	2		3	4							
三和			1	1							
中谷			3	1							
北	2		4	1							
請方	2		8	6							

応援協定等の状況

千葉県広域消防相互応援協定

平成 15 年 4 月 1 日

千葉県下の市町村及び一部事務組合が大規模災害及び産業災害その他の災害の予防、鎮圧に万全を期し、併せて民心の安定を図るため相互応援体制を確立し、不測の事態に対処することを目的として締結した。

成田国際空港消防相互応援協定

平成 18 年 7 月 12 日

成田市、香取広域市町村圏事務組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合、山武郡市広域行政組合、匝瑳市横芝光町消防組合、印西地区消防組合、四街道市、栄町及び富里市並びに成田国際空港株式会社と、その周辺における航空機災害の消火救難活動に関する相互応援協定に締結した。

栄町・印西地区消防組合消防相互応援協定

平成 16 年 5 月 13 日

栄町の指定した区域及び印西地区消防組合の指定した区域における、消防相互の応援をすることを目的に締結した。

成田市・栄町消防業務応援協定（平成 25 年 1 月 25 日に相互応援協定が締結されたため本協定は廃止）

平成 4 年 5 月 2 日

栄町の指定した区域（安食地区）における、救急・救助業務の協力を成田市が応援することを目的に締結した。

栄町・稲敷地方広域市町村圏事務組合消防相互応援協定

平成 18 年 3 月 6 日

若草大橋橋上で発生した災害に対して、消防相互の応援をすることを目的に締結した。

成田市・栄町消防相互応援協定

平成 25 年 1 月 25 日

成田市・栄町相互の管轄区域に接する地域及びその周辺における、火災・救急・その他の災害に対して消防相互の応援をすること及び、ちば消防共同指令センターにおける円滑な指令・出動を図る為締結した。

ちば消防共同指令センター広域消防相互応援協定

平成 25 年 3 月 29 日

千葉県広域消防相互応援協定に基づき千葉市ほか 10 市 1 町 8 一部事務組合消防の地域内で災害が発生した場合において、隣接する構成市町村への相互応援を目的に締結した。

防災編



《小学校防災訓練》

栄町の防災体制につきましては複雑多様化する大規模災害時に備え、消防機関と防災関係機関による体制強化とあわせて住民が連携し、地域ぐるみの防災体制の確立を図っていくため地区別防災訓練、自主防災組織訓練、地域防災対策推進活動（小中学校地震体験学習）を開催しています。

栄町防災行政無線通信施設状況

固定局配備状況

呼出名称 : ぼうさいさかえ

空中線出力 : 1W

送信場所 : 栄町安食台1丁目2番(栄町役場内)

屋外受信機設置場所

(平成27年4月1日現在54基)

番号	設置場所	番号	設置場所
1	拾五町歩地先	28	酒直台児童公園
2	前新田地先	29	雨堤児童公園
3	第1分団第1部機庫(1区)	30	竜角寺台小学校
4	前新田浄水場	31	四斗蒔児童公園
5	安食小学校	32	竜角寺近隣公園
6	旧保健センター	33	布鎌酒直青年館
7	栄中学校	34	出津青年館
8	三区集会所	35	第4分団第4部機庫
9	田中児童公園	36	長門川公園
10	安食台第2近隣公園	37	和田土地改良区
11	安食台3丁目集会所	38	布鎌小学校東分校跡地
12	安食台小学校	39	第4分団第2部機庫(押付)
13	第2分団第1部機庫(須賀)	40	曾根公会堂跡地
14	第2分団第2部機庫(須賀新田)	41	曾根香取神社
15	栄町終末処理場	42	第4分団第3部機庫(南)
16	旧北辺田小学校	43	下堤外児童公園
17	矢口仲台地先	44	南第2児童公園
18	矢口農協倉庫	45	南浅間神社
19	矢口榎本地先	46	西青年館
20	興津浅間神社	47	第5分団第2部機庫(布太)
21	麻生集会所	48	中谷集会所
22	龍角寺	49	栄町北沖耕地神社
23	旧栄東中学校	50	押砂地区集会所地先
24	旧酒直小学校	51	請方農村協同館
25	酒直池ノ内地先	52	皇太神社地先(請方)
26	南部青年館	53	布鎌小学校
27	船戸児童公園	54	栄町公民館

自主防災組織防災備品状況(町整備)

(平成27年4月1日現在)

品 名	数量	品 名	数量	品 名	数量
ハンドマイク	55	ポリタンク	95		
メガホン	113	飲料水袋	3,100		
トランシーバー	22	災害用移動炊飯器	8		
消火栓ボックス	107	釜セット	10		
救急セット	20	ヘルメット	1,026		
担架	18	腕章	1,418		
三角巾	1,081	発電機	23		
トビロ	24	投光器	28		
バール	89	ロッカー	6		
掛矢	43	リヤカー	17		
鋸	36	スコップ	47		
強力ライト	147	ペンキ・ハケ	14		
標旗	14	シート	105		
ロープ	21				
難誘導灯	28				

自主防災組織防災備品状況(各自主防災組織整備)

(平成27年4月1日現在)

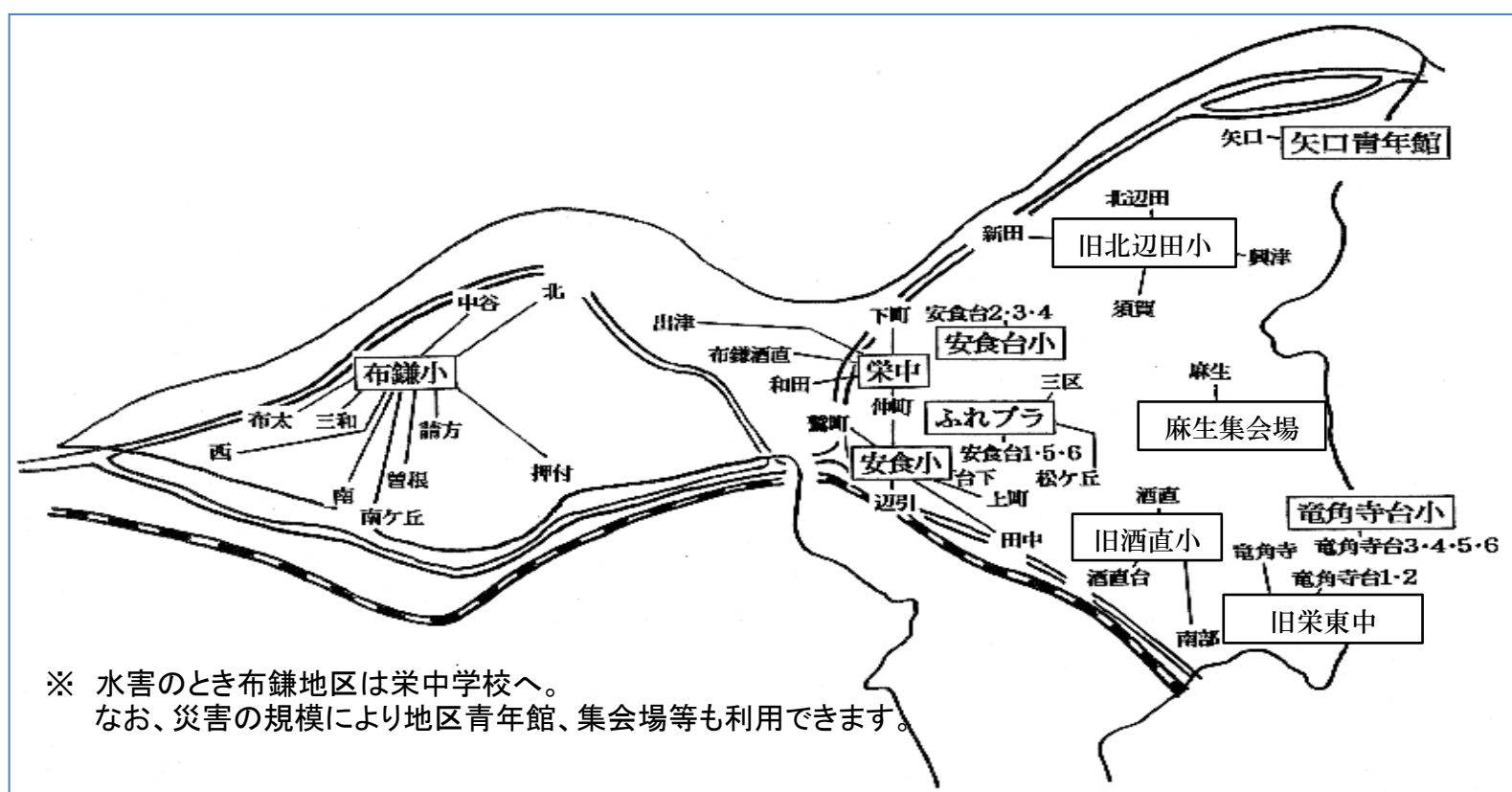
品 名	数量	品 名	数量	品 名	数量
発電機	1	ガソリン携行缶	4	避難誘導旗	10
簡易救助資機材セット	1	給油ポンプ	1	ジャッキ	5
投光機	10	簡易トイレ	11	ボルトクリッパ	8
消火栓用ホース	70	電 池	378	防護メガネ	10
コ ー ン	5	おむつ	1	防塵マスク	100
防災ラジオ等	9	リハビリパンツ	1	飯 釜	2
シグナルライト	3	パンパース	2	釜 戸	5
腕 章	40	ウイスパ	4	電気炊飯器	1
拍 子 木	4	ウェットタオル	6	鍋	8
消火器	7	工具箱	2	せいろ	4
防災ヘルメット	45	七 輪	2	ボール・ザル	4
安全ローソク	1	豆 炭	8	ポリバケツ	8
ローソク	29	チェーンソー	3	調理用具	1
ハイゼックス	3,064	ブルーシート	21	備蓄食料	1
アルファ米50食	215	ビニール紐	3	ガスレンジ	2
大型乾パン	370	布テープ	6	スポーツジャー	6
保 存 水	138	メガホン	1	土のう袋	200
濾 過 器	1	裁縫箱	2	パイロン	13
折りたたみ式水容器	16	懐中電灯(大)	13	テント	7
折りたたみバケツ	10	懐中電灯(小)	5	飲料水袋	300
浄水器ストロー	100	チャッカマン	4	トランシーバー	6
災害非常用セット	4	保存食(五目御飯)	200	担架	1
カセットコンロ	20	パンの缶	82	バール	4
ガスボンベ	56	自主防ベスト等	14	鋸	1
毛 布	122	ジャンパー	15	鉋	3
トイレットペーパー	110	一輪車	2	斧	1
軍 手	294	コードリール	8	番線カッター	3
笛	19	長 靴	13	組立式リヤカー	1

町防災備品状況

(平成27年4月1日現在)

品 名	規 格	数 量	品 名	規 格	数 量
防災倉庫	アルミ製101型	4	なた		10
	中学校々舎内	1	のこぎり		49
懐中電灯		37	掛矢	150mm	17
ラジオ付懐中電灯	サイレン付き	10	鉄ハンマー	3.5kg 両口	12
充電式携帯用ライト		10	万能オノ	300mm	8
担架		10	ショーレン	救助用8kg・1.6m	5
浄水機		2	ヘルメット	職員用	300
スチール製簡易組立トイレ	ベンクイック	32	トラロープ	100m	1
簡易トイレ予備便槽	300リットル	2	カラーコーン		30
災害用個人用トイレ	エマトイレ	14	コーンリング		30
災害用移動炊飯器		7	コーンバー		20
毛布	真空パック	1370	腕章	職員用	300
マイルディシート		9	発電機	2.0kw～2.2kw	5
非常用飲料水ポリタンク	20リットル	148	投光器	三脚付ハロゲン500W型	12
飲料水運搬袋	10リットル	800	ガソリン携行缶	20リットル	5
災害用救急箱		5	マグネット式回転灯		3
災害用かまどセット	アルミ製 5升炊	3	水中ポンプ		2
災害用安全キャンドル		21	拡声器	サイレン付き	2
三角巾		100	エプロン		0
災害用トイレ汚物廃棄用袋	650mm×800mm	8,680	トイレトペーパー		300
アルファーマ		800	紙おむつ	子供用	1,480
非常用飲料水	500mlペットボトル	1,776		大人用	300
ハンドマイク		1	生理用品	42ヶ入り	25
コードリール		9	発電機	千葉県	2
雨衣		514	ポリタンク	20リットル	148
防水シート		1496	バケツ		30
土のう袋		10,200	ワンタッチテント		24
パイル		850	ワンタッチパーテーション		25
ハイゼックス袋		3,000	粉ミルク	13g スティック	0
チェンソー		6	タオル		2200
スコップ	丸型62丁・角型22丁	84	多機能ランタン		10

広域避難場所図



避難場所一覧表

No.	名 称	所 在 地	収容可能人員		避難地区名	海拔
			屋外	屋内		
1	ふれあいプラザさかえ	安食938-1	4,625	996	安食台1・5・6丁目、松ヶ丘・三区	9.0m
2	栄中学校	安食55	5,676	1,633	仲町・下町・和田・布鎌酒直・出津	27.0m
3	旧栄東中学校	龍角寺1112-2	2,950	720	龍角寺・竜角寺台1・2丁目	24.0m
4	竜角寺台小学校	竜角寺台6-26-1	2,290	470	竜角寺台3・4・5・6丁目	19.0m
5	安食台小学校	安食台4-34-1	2,610	430	安食台2・3・4丁目	7.0m
6	安食小学校	安食305	2,570	140	仲町・鷺町・台下・上町・田中・辺引 安食1・2・3丁目	24.0m
7	旧酒直小学校	龍角寺33	2,030	280	酒直・酒直台・南部	30.0m
8	旧北辺田小学校	北辺田212	800	160	北辺田・興津・須賀・須賀新田	20.0m
9	布鎌小学校	請方157-1	2,214	160	北・中谷・布太・三和・西・南・曾根・請方 押付・南ヶ丘	2.0m
10	麻生集会場	麻生182-1	—	27	麻生	25.0m
11	矢口青年館	矢口6-1	—	24	矢口	20.0m
合 計			25,765	5,040		

消防団編



消防団員は、郷土愛護の精神に基づき地域住民の生命、身体、財産を災害から保護するため、昼夜を問わず旺盛な消防精神により、献身的な奉仕活動を行っています。

自分たちの地域は自分たちで守るという理念に基づき火災のみならず、地震や風水害等の大規模災害時においても消防団員の果たす役割は非常に大きいものがあり、その役割を果たすための訓練等に励んでおります。

栄町消防団員は平成27年4月1日現在、5分団22部及び機能別消防団292名で構成されています。年間事業の中で、規律訓練、操法訓練、ポンプ取り扱い訓練、水防訓練をはじめとして災害現場に生かせるように訓練しており消防署との連携強化に努めています。

また、機械器具・消防水利の点検、冬季や強風時には火災警戒活動も実施しております。

消防団員報酬(年額)

(平成27年4月1日現在)

(円)

階級 区分	団長	副団長	本部長	分団長	副分 団長	部長	班長	団 員
消防団員	160,000	114,000	84,000	63,000	49,000	40,000	29,500	27,000

消防団員各種手当

(円)

区分 支給額	火災	風水害	警戒	訓練	その他
1回につき	1,500	1,500	1,500	1,500	750

消防団出場状況

(平成27年3月31日現在)

区分	火災	風水害	警戒	訓練等	式典等	その他	合計
出動回数	4	0	1	5	5	1	16
出動団員数	98	0	15	181	205	149	648

階級別定員数及び実員数

(平成27年4月1日現在)

階級 区分	団長	副団長	分団長 (本部長)	副分 団長	部長	班長	団員	計
定員	1	2	11(6)	5	22	72	239	352
実員	1	2	11(6)	5	22	22	229	292

分団別人員配置状況

(平成27年4月1日現在)

階級 区分	団長	副団長	本部長	分団長	副分 団長	部長	班長	団員	計
本 部	1	2	6						9
第1分団	第1部				1	1	1	24	27
	第2部					1	1	18	20
	第3部			1		1	1	11	14
第2分団	第1部				1	1	1	11	14
	第2部					1	1	7	9
	第3部					1	1	15	17
	第4部					1	1	10	12
	第5部			1		1	1	13	16
第3分団	第1部				1	1	1	4	7
	第2部					1	1	9	11
	第3部					1	1	9	11
	第4部			1		1	1	2	5
第4分団	第1部				1	1	1	10	13
	第2部			1		1	1	4	7
	第3部					1	1	11	13
	第4部					1	1	12	14
第5分団	第1部					1	1	8	10
	第2部			1		1	1	4	7
	第3部				1	1	1	4	7
	第4部					1	1	3	5
	第5部					1	1	11	13
	第6部					1	1	12	14
竜角寺台機能別消防団									
合 計	1	2	6	5	5	22	22	229	292

消防団車両保有状況

(平成27年4月1日現在)

配置場所		車両名称	車両購入年月	車種	級別	小 型ポンプ 購入年月
第1分団	第1部	消防ポンプ自動車	平成16年12月	日野自動車	A-2級	—
	第2部	消防ポンプ自動車	平成15年 3月	日野自動車	A-2級	—
	第3部	小型動力ポンプ付積載車	平成 4年12月	日産自動車	B-2級	平成 25年11月
第2分団	第1部	消防ポンプ自動車	平成 2年 9月	イズズ自動車	A-2級	—
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	平成 4年12月	日産自動車	B-3級	平成22年 9月
	第3部	消防ポンプ自動車	平成13年 1月	日産自動車	A-2級	—
	第4部	小型動力ポンプ付積載車	平成22年 3月	日産自動車	B-2級	平成22年 3月 (総務省消防庁貸付車両)
	第5部	消防ポンプ自動車	平成16年12月	日野自動車	A-2級	—
第3分団	第1部	小型動力ポンプ付積載車	平成 9年 1月	日産自動車	B-2級	平成 9年 1月
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	平成 9年 1月	日産自動車	B-2級	平成 9年 1月
	第3部	消防ポンプ自動車	平成 5年11月	イズズ自動車	A-2級	—
	第4部	小型動力ポンプ付積載車	平成 5年11月	日産自動車	B-2級	平成 5年11月
第4分団	第1部	小型動力ポンプ付積載車	平成14年 1月	トヨタ自動車	B-2級	平成14年 1月
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	平成15年 3月	トヨタ自動車	B-3級	平成15年 3月
	第3部	小型動力ポンプ付積載車	平成16年 2月	日産自動車	B-3級	平成16年 2月
	第4部	小型動力ポンプ付積載車	平成14年 1月	トヨタ自動車	B-2級	平成14年 1月
第5分団	第1部	小型動力ポンプ付積載車	平成 5年11月	日産自動車	B-2級	平成 5年11月
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	昭和58年11月	日産自動車	B-3級	平成 4年12月
	第3部	小型動力ポンプ付積載車	昭和58年11月	日産自動車	B-3級	平成 4年12月
	第4部	小型動力ポンプ付積載車	昭和58年11月	日産自動車	B-3級	平成元年10月
	第5部	小型動力ポンプ付積載車	平成 3年12月	日産自動車	B-2級	平成 3年12月
	第6部	消防ポンプ自動車	平成 4年12月	イズズ自動車	A-2級	—

消防団施設概要

(平成27年4月1日現在)

名 称		住 所	構 造	建物延べ面積
第1分団	第1部	安食3,431-1	鉄骨造2階	107.0m ²
	第2部	安食3,647	鉄骨造2階	49.0m ²
	第3部	安食1,464	鉄骨造2階	43.0m ²
第2分団	第1部	須賀501	木造2階	57.0m ²
	第2部	須賀1,969	鉄骨造平家	24.0m ²
	第3部	北辺田87	木造2階	59.8m ²
	第4部	矢口6-1	木造平家	28.0m ²
	第5部	興津1,136	木造2階	57.0m ²
第3分団	第1部	麻生245-1	木造2階	57.0m ²
	第2部	龍角寺131-1	鉄骨造平家	25.0m ²
	第3部	酒直1,371	木造2階	25.0m ²
	第4部	酒直299-2	木造2階	57.0m ²
第4分団	第1部	和田336	木造平家	28.0m ²
	第2部	押付192	鉄骨造平家	41.0m ²
	第3部	南110	鉄骨造2階	61.0m ²
	第4部	布鎌酒直地先	鉄骨造2階	57.0m ²
第5分団	第1部	西199	木造2階	61.0m ²
	第2部	布太38	木造2階	61.0m ²
	第3部	三和173-6	鉄骨造2階	45.0m ²
	第4部	中谷202	木造平家	30.0m ²
	第5部	北379	鉄骨造2階	57.9m ²
	第6部	請方字島田311-2	木造2階	57.9m ²

平成27年版
消 防 年 報

発行 平成27年6月

編集 栄町消防本部消防防災課警防班

〒270-1546

千葉県印旛郡栄町生板鍋子新田乙20-71

TEL 0476-95-0119

FAX 0476-95-7630

E-mail: shoubou@town.sakae.chiba.jp